

- 1 教育事業名 「いきいき自然体験キャンプ」
- 2 ね ら い 自然あふれる渡嘉敷島において、日常の生活では体験する機会の少ないことへの挑戦や2泊3日の集団生活での新しい仲間や講師、スタッフとの出会いや関わりが参加者の今後の生活においてよいきっかけとなることを期待し本事業を実施する。
- 3 期 日 令和5年9月12日（火）～9月14日（木） 2泊3日
- 4 場 所 国立沖縄青少年交流の家（本館、海洋研修場）
- 5 募集定員 沖縄県内適応指導教室に通級する児童生徒
- 6 参加人数 26名
- 7 参加者内訳 中学生9名 小学生6名 引率教師11名
- 8 実施プログラム

令和5年9月12日(火)～14日(木) 2泊3日

時間	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00
12日 (火)	9:00から乗船開始 (とまりんターミナル)				フェリー	受付 移動	弁当 (持参)	オープニング ふれあいレク	テント 設営	野外炊事			ゆとりの 時間	入浴	振り 返し 就寝
13日 (水)	起床・準備 テント底上げ	朝食	テント 撤収	海洋研修 カヌー・スノーケリング他		弁当	海洋研修		クラフト	本館 へ	入所 OR	つどい	夕食	入浴 ゆとりの時間	灯りの 時間 振り返し 就寝
14日 (木)	起床 準備	つどい	朝食	清掃 CH	ゆとりの 時間	平和 学習	食堂	クラフト	エン グ デ イ	港へ 移動	フェリー	到着後、教室ごとに解散。			

9 事業の様子



オープニング



ふれあいレク



テント設営



野外炊事②



一日の振り返り



テント撤収



カヌーでアリガー



アリガーでのスノーケリング



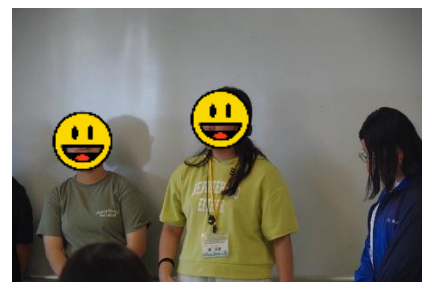
朝のつどい



平和学習



クラフト制作



感想発表

11 参加者の声(アンケートより)

- ・スタッフの皆さんが生徒に気さくに声をかけてくれたので、生徒も緊張がすぐに解けていました。
- ・うまく立てることができるか心配でしたが、女子3名でもできたのがうれしかった。(テント設営)
- ・全然料理をしないので切り方とかわからなかったけど先生たちが教えてくれた。(野外炊事)
- ・火起こしは初めてだったけど楽しかった。(野外炊事)
- ・海が怖くて入れるか心配だったけど、意外と楽しかった。(海洋研修・アリガーチャレンジ)
- ・夜の屋外での静かな中で、自然の良さを感じることができた。(灯りの時間)
- ・美しい渡嘉敷の裏には悲しい過去があるのだと知ることができました。(平和学習)
- ・写真があり、自分のチャレンジや成長を実感できる楽しいクラフトであった。(クラフト作成)

12 担当者所見

(1) 成果

- ・大自然の中での様々なプログラムを通して、教室ではできない貴重な経験をしてもらうことができた。
- ・アリガーチャレンジ、野外炊事でのカレー作りなど様々な初めてに挑戦したことで、共に頑張ることの大切さや達成感を共有することの素晴らしさを感じてもらうことができた。
- ・前回は実施しなかったテント泊を実施した。参加者、引率共に不慣れな部分もあったが、非日常の生活を体験してもらうことができた。仲間と一緒に自分でテントをたてたことや初めてテントで眠ったことへの達成感を表現する感想が見られた。

(2) 課題

- ・参加する児童生徒の実態に合わせた事業の計画を各教室の引率教師、センターの主事と相談しながら事業を共に計画していく必要がある。(プログラム、宿泊形態、開催日数など)
- ・教室と連携して、参加した児童生徒のその後の追跡調査を行い、キャンプに参加したことがどのような影響をあたえるのかを確かめたい。